

県民残業時間 22年全国5位

三重県民の残業時間は多い。厚生労働省の「毎月勤労統計調査」によると、5人以上の事業所で働く常用労働者の所定外労働時間は、三重県は2022年が月平均11.3時間で全国5位だ。過去10年間でみても、ほぼ2位か3位。東京都と並んで最も多いのは愛知県で、8年連続の1位。少ないのは奈良県で、直近8年は46位か47位だ。東京都を除けば多いのは愛知や三重といった機械や化学などの重化学工業が盛んな県が目立つ。

残業時間は、若者が就職先を選ぶ際の重要な要素となっている。内閣府が全国の大学4年生と大学院2年生（医学薬学看護系除く）を対象に実施した調査によると、就職先を決める際に重視することとして「残業が少なく、休暇が取れるなどのワークライフバランス」の割合が、調査を始めた17年の39.6%から23年は49.4%と1割も上昇し、約半数を占める。

景気が回復する中、人手不足と都市部への人口流出が進み、県内の中小企業からは特に若者の確保に苦慮する声を聞く。人の確保には、賃上げも必要だが、長時間労働の是正を含め、多様な働き方が可能となる職場環境づくりが鍵となる。

(コンサルティング事業部 調査グループ 主任研究員 谷ノ上千賀子)

2022年の 残業時間が 多い都道府県		所定外労働時間	多い順
	全国平均	10.1(時間)	—
	東京	11.7	1
	愛知	11.7	1
	栃木	11.4	3
	山梨	11.4	3
	群馬	11.3	5
	三重	11.3	5
	∴		
	佐賀	8.1	45
奈良	7.1	46	
高知	6.7	47	

※グラフは中日新聞記事より転載

中日新聞「データを読む(百五総合研究所 谷ノ上千賀子さんに聞きました)」

2024年4月25日